

KDS 外部表示ユニット

YM-2014-02-25V01.0

DST-210S用

取扱説明書

この度はデジタル身長・体重計 DST-210S用「外部表示ユニット」をお求めいただき、まことにありがとうございます。

「外部表示ユニット」はデジタル身長・体重計 (DST-210S) が出力した測定値を受信することにより、離れた場所でも測定結果が確認できます。この取扱説明書を必ずお読みの上、十分理解されてからお使いください。また、本書はいつでも取り出せるよう大切に保管してください。

注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

危険	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを示しています。具体的な注意事項は△の中や近くの文書や絵で記され、左図の場合は「感電注意」を示します。
	⊘記号はしてはいけないこと(禁止)を示しています。具体的な禁止内容は⊘の中や近くに文書や絵で記され、左図の場合「分解禁止」を示します。
	●記号は必ず守っていただきたいこと(強制)を示しています。具体的な強制内容は●の中や近くに文書や絵で記され、左図の場合「守っていただきたいこと」を示します。

この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

- 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- 個々に記載されている外観および仕様は予告なしに変更することがあります。カタログ・取扱説明書の内容と多少異なる場合もありますのでご了承ください。
- 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 当社では、本機器の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、上記3)項にかかわらず如何なる責任も負いかねますのでご了承ください。

使用上(安全および危険防止)の注意事項

本機器を正しく安全にお使いいただくために、以下の注意事項を熟読された上で取り扱いください。ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他、測定者および被測定者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用前に本取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置および保管は、次の点に注意してください。

危険	可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本機器を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。
-----------	---

注意

- 下記の使用環境、保管環境でご使用ください。
 - ・水のかからない場所。
 - ・高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。
 - ・暖房器具の近く、または空調機の風が直接当たる場所には置かないでください。
 - ・化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。
 - ・室温が使用温度範囲内(0℃～+40℃)の場所。

- 製品の設置・移動時は、下記にご注意ください。
 - ・本機器を通行の妨げになる場所に放置しないこと。
 - ・移動中に本体のまわりに人や物がいないことを確認すること。
 - ・移動中に本体を壁や物などにぶつけないこと。故障の原因になります。
 - ・移動中は周囲の物にケーブルを引っかけないようにすること。
 - ・乱暴に取り扱わないこと。故障の原因になります。
 - ・本機器を移動する時は、ケーブルを束ねて持ち移動すること。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

注意

- 機器が安全かつ正確に動作すること。
- 本体側への接続は、出力プラグを本体側に差し込み後、プラグの固定ネジ(×2本)で固定すること。
- ケーブルを束ねたまま使用しないこと。
- 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。
- 安全に正しく使用するために使用前点検を必ず行うこと。
- 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。

- 本機器の上に重いものを載せたり、本機器の下敷きしないこと。
- 火災・感電の原因になります。
- 電池を交換する際は、全て新しい電池に交換し、新旧の電池を混在させないこと。故障の原因になります。
- 電池は+-の極性に注意し、正しく設置すること。
- 濡れた手で電池を交換しないこと。感電の原因になります。
- 充電電池(二次電池)は使用しないこと。

3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

注意

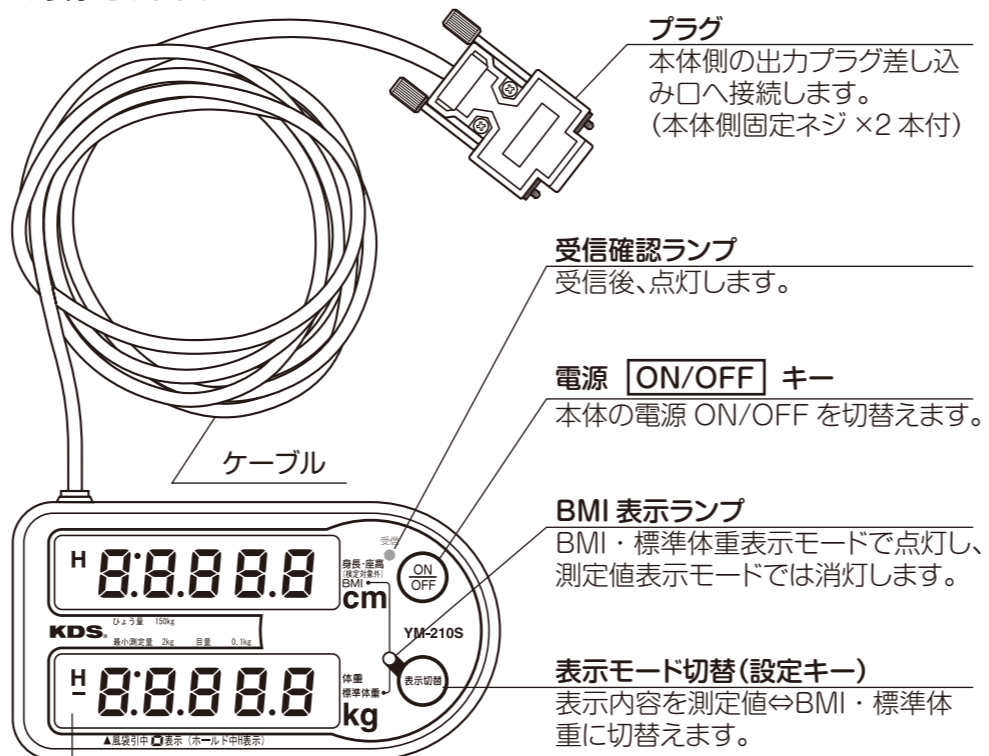
- 本機器は、デジタル身長・体重計のエラー表示もそのまま表示します。エラー表示を確認した場合は、デジタル身長・体重計の表示と見比べ、どちらの機器がエラー表示しているか判断すること。

- 強磁界および強電界中では使用しないこと。
- 温度変化の激しい場所では使用しないこと。
- ホールペンなど尖った物で表示部のスイッチ等を押さないこと。故障の原因になります。
- ケーブルをまたいだり、飛び越えたりして遊ばないこと。

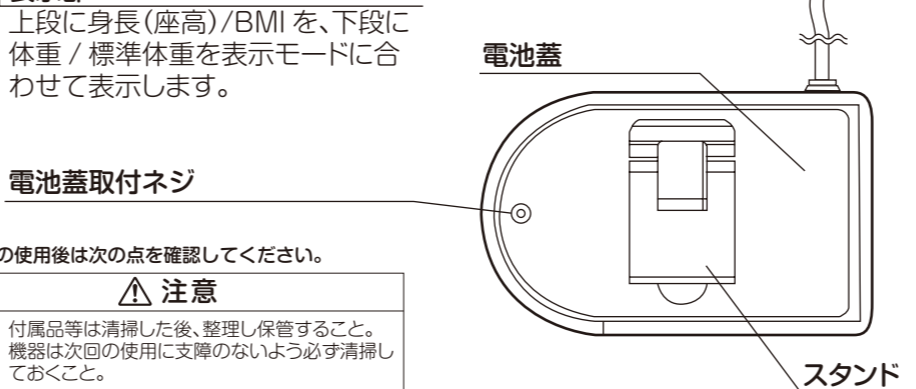
1. 各部の名称と機能

▼1-1 名称および表示部

測定値(身長・体重・座高)、エラー表示はデジタル身長・体重計(DST-210S)と同じ表示をします。



電池蓋



4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

注意

- 付属品等は清掃した後、整理保管すること。機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。
- ケーブル類を取り外す時は、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。故障の原因になります。
- 長期間ご使用にならない場合は乾電池を抜いておくこと。

5. 機器が異常と思われた時は、次の処置をしてください。

警告

- 測定者および被測定者の安全を確保すること。機器の動作を止め、電源を切り、電池を抜くこと。機器に「故障」「使用禁止」等の表示を行い、速やかに当社までご連絡ください。

6. 保守・点検については次の点に注意してください。

警告

- お手入れの際は、感電防止のため、電池を抜くこと。
- しばらく使用しなかった機器を再使用する時は、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。
- 安全に正しく使用するため、使用前点検、保守点検は必ず行ってください。機器の使用・保守の管理責任は、設置者(施設、学校、病院、診療所)側にあります。
- 使用前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。
- 本機器の分解、および改造は絶対にしないでください。ケガ、火災、感電の原因になります。

▼1-2 仕様

品番	YM-210S
品名	外部表示ユニット
通信方式	RS-232C
表示	デジタル4桁 LCD表示
表示単位	0.1cm(1mm) / 0.1kg(100g)
機能	身長(座高) / 体重表示機能、BMI / 標準体重表示機能、オートパワーオフ機能、自己診断・修正機能
使用温度	0℃～+40℃
電源	単3形乾電池4本
重量(電池含む)	520g
外形寸法(ケーブル除く)	170(W)×110(L)×55(H)mm
ケーブル長	約2.5m
材質	本体ケース / ABS樹脂

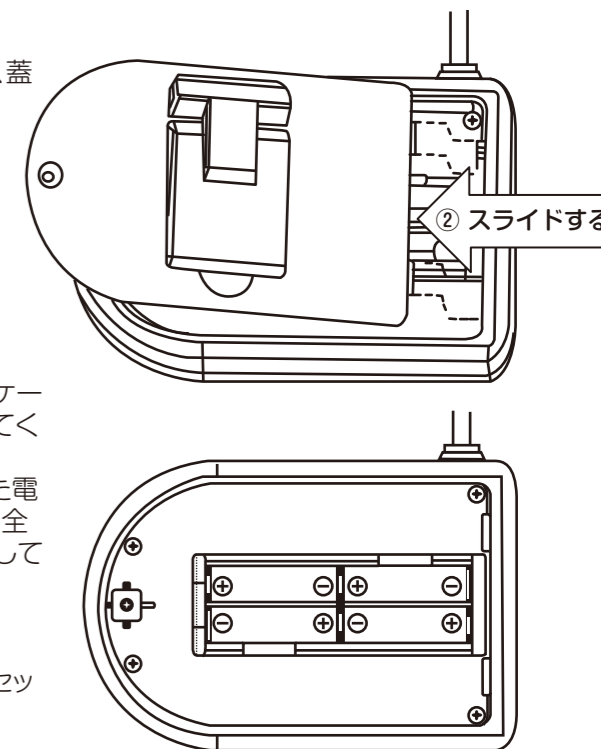
ご注意

外部表示ユニットの設置について本機器を設置する際は、ケーブルに人がつかずかないようにご注意ください。けが、故障の原因となります。

2. 電池の設置・交換

1. 電池蓋取付ネジを取り外し、蓋をスライドさせて外します。

① 電池蓋取付ネジを取り外す



2. 電池の+-の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。電池交換の場合は、消耗した電池を取りはずし、4本同時に全て新しい電池(単3)と交換してください。

3. 蓋をスライドさせて本体にセットし、ネジを締めます。

7. 強い電磁波やノイズにより誤動作を起こすことがありますので注意してください。

注意

- 本機器は、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用時、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。

- 一般的な原因と対策の一例をあげます。
 - 【事例-1】携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用
 - 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では携帯電話や小型無線機器等の電源を切るよう指導する。
 - 本機器を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。

- 【事例-2】静電気の影響があると思われる場合(機器およびその周辺での放電)
 - 装置を使用する前に、測定者、被測定者とも十分に放電を行う。
 - 部屋を加湿する。

環境保護

警告

- 本機器を廃棄する時は、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。

保証書

品名:外部表示ユニット
品番:YM-210S
有効保証期間:1年

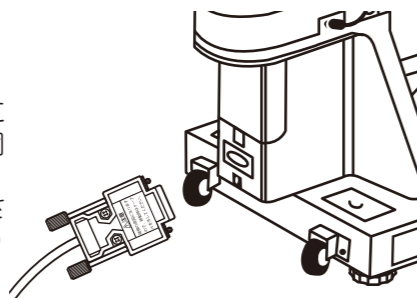
この保証書は裏面の無料修理規定記載の内容により無料修理を行う事をお約束するものです。お買上げの日から左記の期間中に正常なご使用において万が一故障が発生したときは製品と本書を最寄りのムラテックKDS営業所までご送付ください。

お客様	ご芳名	TEL.		様
	ご住所			
お買上げ日		年	月	日
販売店	店名	TEL.		
	住所			

3. 使用方法

▼3-1 外部表示ユニットの接続

本機器のプラグをデジタル身長・体重計側にある出力プラグ差し込み口へ接続し、プラグ固定ネジ（×2本）で固定します。（差し込む際はプラグの向きに注意してください。無理に差し込むと故障の原因になります。）



ご注意

デジタル身長・体重計の移動の際は、プラグを取り外してください。破損の原因になります。

▼3-2 測定値を表示する

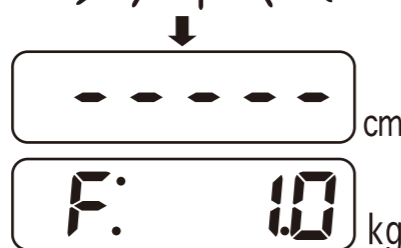
1. 電源を ON する

電源 **ON/OFF** キーを押し、本体の電源を入れます。表示が全点灯・全消灯を5回繰り返します。



2. 初期表示

電源ON後、約2秒間は表示部上段に **-----** と表示されます。
※右図の下段 **F: 10** の表示は機器により異なります。



3. 測定値の表示

初期表示の終了後、受信確認ランプが点灯し身長・体重計と同様の内容が表示されます。

▼3-3 BMI・標準体重を表示する

1. 標準値を表示させる

「測定値を表示する」を参照し、測定値を表示させます。

2. 表示モードを切り替える

表示切替 キーを押し、「BMI・標準体重表示モード」に切り替えます。このときBMI表示ランプが点灯します。

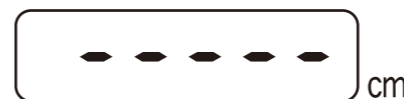
4. いろいろな機能

▼4-1 オートパワーオフ機能

データの通信やキー操作が一定時間確認できなかった場合、本機器は節電のため、自動的に電源OFFします。（「▼5-1 オートパワーオフの設定」を参照ください。）

▼4-2 データ受信に関するエラー

初期表示終了後、データの受信が確認できない場合は表示部に **-----** が表示されます。正常データの受信で測定値（またはBMI/標準体重）が表示され復帰します。



▼4-3 電池残量警告（ローバッテリー）表示

本機器は常に電源電圧を監視しています。電池残量が少なくなったことを感知すると、低電圧（Low Battery）を意味する右記の表示をします。この表示が出た場合は、電池の交換を行ってください。



▼4-4 計算不可表示

BMI/標準体重表示モードの際、測定値が基準値を満たしていないか、座高計データを受信している場合は表示部に **no** が表示されます。基準値については「▼3-3 BMI・標準体重を表示する」を参照ください。

5. 機器の設定

▼5-1 オートパワーオフの設定（自動節電機能）

1. 設定モードへの移行

表示切替 キーを押しながら、電源 **ON/OFF** キーを押し電源ONすると、オートパワーオフの設定が可能となります。



2. オートパワーオフの設定を切り替える

初期表示終了後、現在の設定値が点滅表示されます。
表示切替 キーを押すごとに、点滅表示部分の表示が変わります。

0: 10	オートパワーオフ 10分
0: 30	オートパワーオフ 30分
0: OFF	なし

いずれかに設定してください。

3. 電源 OFF する

電源 **ON/OFF** キーを押し、電源OFFします。このとき設定値が保存され、次回電源ON時に設定が反映されます。

▼5-2 工場出荷時の設定

工場出荷時のオートパワーオフは10分に設定されています。

▼5-3 自己診断・修正機能

外部表示ユニットには自己診断・修正機能が設定されています。

Err 1	設定値エラー
Err 5	設定記録時のエラー

表示切替 キーを押すと、CLr、Endが表示され、修正処理が完了します。一度電源OFFしてください。



6. 使用前点検

⚠ 警告

・安全に正しく使用するために使用前点検は必ず行ってください。
一日の最初に使用するとき、以下の使用前点検を行ってください。

▼6-1 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題ないことを確認してご使用ください。
・本体け、ケーブルも含め変形や破損はないか。
・汚れがひどくないか。
・濡れていないか。
・本体の接続プラグは、固定ネジ（×2本）で固定されているか。

▼6-2 電源投入後

・けむりが出たり、変なにおいはないか。
・異常な音は聞こえないか。
・表示上で異常はないか。

7. 保守点検

装置を正しくお使いいただくために、定期的に保守点検を実施してください。保守点検の主な内容は以下の通りです。

▼7-1 電源投入前

項目	内容
外観	落下等にゆる変形、破損の有無 各部の汚れ、サビ、傷の有無
操作部	スイッチ類の破損、ガタつきの有無
表示部	画面の汚れ、傷の有無
接続ケーブル	接続ケーブルの上に、重いもの、イス、本体等がのっていないこと

▼7-2 電源投入後

項目	内容
外観	けむりが出たり、変なにおいがしないこと 異常な音がしないこと
操作部	スイッチ類の破損、ガタつきの有無
表示部	表示装置のマーク、記号、数字等の表示欠けの有無
データ処理	測定値を表示確認し異常がないこと
電源部	電源電圧を確認し以上がないこと

・機器に異常がある場合は、点検にお出しく下さい。

8. こんな時には… 故障かな? と思う前に

修理を依頼される前に、もう一度ご確認ください。

現象	確認または調整
表示が時々 ----- になることがある	正常受信ができなかった場合、左記のバー表示になります。頻繁に発生する場合は、プラグの付け直しなどを行ってみてください。
身長も体重も ----- 表示から復帰しない。	接続ケーブルはしっかりと繋がっていますか？ プラグの差し込みがあまい場合はしっかりと差し込んでください。 デジタル身長・体重計の電源は ON になっていますか？ デジタル身長・体重計は外部表示ユニットに対応していますか？ デジタル身長・体重計の電源 ON 時、 F: 2.1 以降の表示を確認してください。 F: 2.0 以前では本機器はご使用いただけません。 上記についても併せてご確認ください。
身長や体重の値が現実的でない。	BMI/標準体重表示モードになっていませんか？ BMI 表示ランプが点灯していないか確認してください。

無 料 修 理 規 定

- | | |
|--|--|
| 1. 本製品が取扱説明書等に従う正常な使用状態において故障した場合は、お買い上げの日より1ヶ年間無料修理いたします。 | a) 誤用、乱用による故障や取扱い不注意による故障。 |
| 2. 保証期間内に故障して無料修理を受けられる場合は製品と保証書を最寄りのムラテックKDS営業所までご送付ください。 | b) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧による故障。 |
| 3. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。 | c) 不適當な修理や改造による故障。 |
| | d) 保証書の送付のない場合、及び保証書に必要事項（お買上げ日、販売店名等）のない場合。 |
| | 4. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 |

ムラテックKDS株式会社

本社
〒601-8036 京都市南区東九条松田町39
TEL : 0120-25-5548 FAX : 075-661-2764
http://www.muratec-kds.jp

本社営業部 TEL : 075-276-5541 FAX : 075-661-2764
新潟営業所 TEL : 0256-35-5481 FAX : 0256-35-6317
東京営業所 TEL : 03-5620-1051 FAX : 03-5620-1053
名古屋営業所 TEL : 052-852-7621 FAX : 052-852-7624
兵庫営業所 TEL : 0794-83-3411 FAX : 0794-82-5915
福岡営業所 TEL : 092-953-5781 FAX : 092-953-5784